

令和元年 8 月 データから見た業界の動き

■ 概 況

8月の山梨県内のD I値は、全体で売上高は▲8ポイント（前年に比べ▲18）、収益状況は▲14ポイント（前年に比べ▲20）、景況感▲18ポイント（前年に比べ▲26）となり、いずれの項目とも昨年より悪化した。

製造業では、売上高▲15（前年に比べ▲15）、収益状況▲30（前年に比べ▲20）、景況感▲30（前年に比べ▲35）と先月に続き大きく悪化した。

金属製品製造業界では昨年秋以降、米中の貿易摩擦による中国の景気減速や、日韓の関係悪化の影響から受注が減少傾向にあり、先行きの見通しに不安。また、織物製造業では消費増税による国内需要の減退を懸念する声があった。

非製造業では対前年比で売上高▲3（前年に比べ▲20）、収益状況は▲3（前年に比べ▲20）、景況感▲10（前年に比べ▲20）と、製造業と同様に、いずれの項目とも昨年より悪化した。

猛暑により、運輸（タクシー）業界では利用客が増加、電気機械器具小売業ではエアコンや冷蔵庫の夏商品の売上が増加した一方で、青果物小売業では品目により仕入れ価格が高値で推移、小売価格への転嫁が進まず収益を圧迫している。また降雹被害によりブドウは出荷量が減少しているとの報告もあった。

建設業及び警備業においては、人手の不足及び働き方改革への対応から稼働率が下がり、売上高の減少、収益率の低下を招いているとの報告がされた。

消費税増税による売上低下、最低賃金引き上げによる収益の悪化などさらに景気の後退も考えられ、先行きを懸念する声が徐々に増えている。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工業）	ホテル・レストラン向け業務用は順調だが、ギフト・おせち関係は好調であった7月からの反動減となり全体の売上は前年同月比で89.6%。
食料品（洋菓子製造業）	国内外の積極的な店舗展開と天候の回復から冷菓の売上が回復し売上高は前年同月比109%となったが、原材料の値上がりに不安を感じている。
食料品（酒類製造業）	天候不順によりワイン原料となるブドウの品質低下が懸念される。今後の天候に恵まれる事を期待する。県の「ワイン県」宣言をきっかけに業界がさらに発展するよう組合として取り組みを行っていく。
繊維・同製品（織物）	ネクタイはクールビズの影響から例年同様厳しい状況。10月の消費増税の影響を懸念している。
印刷・同関連業	用紙・インキの価格高騰から収益が圧迫されている。また、デジタル化によるペーパーレス化の進行、ネット通販印刷の台頭が生産設備を保有する組合員企業への影響が大きい。

窯業・土石（砂利）	地域により需給量の差がある。需給量の増減は工事量の多寡によるところが大きい。リニア新幹線をはじめとした交通網のインフラの整備を期待する。
窯業・土石（山砕石）	コンクリート用資材は前年同月と変化はないが、舗装用資材等が低調で売上高は前年同月比で5%悪化した。
鉄鋼・金属 （金属製品製造業）	働き方改革の取り組みによる労働時間の減少から稼働率が低下、売上高は前年同月比で2%悪化した。
鉄鋼・金属 （金属製品製造業）	昨年からの落ち込みが更に厳しさを増している状況。自動車関連の生産の減速の他、中国や日韓関係問題に加え、10月の消費増税と先行き不透明。
一般機器 （工作機械部品加工業）	組合員を対象に、消費税特別措置法をテーマとした講習会を実施した。
電気機器 （電気機械部品加工業）	同業者の中に安値による受注業者があり価格を乱している。
電気機器 （電気機械部品加工業）	半導体関連の落ち込みはすでに1年続いており、回復の遅れを懸念している。受注量の減少から、今後は更に価格競争が激しくなる恐れがある。

● 非製造業

卸売（紙製品）	古紙の在庫は、国内の需要の低迷、中国への輸出の禁止からオーバーフロー状態。売上高は前年同月比で70%悪化した。
卸売（ジュエリー）	8月J J F（ジャパングジュエリーフェア）の来場者減から売上高は減少。9月には香港フェアが予定されているが、香港デモの影響から来場者の減少、さらに出展を取りやめる組合員もおり、厳しい状況は続く。
小売（青果）	猛暑による消費者の食欲不振や加熱調理が避けられ、売上げが減少。品薄の商品は原価が高騰し収益を圧迫している。ブドウは降雹被害から品質が落ち、売上げが伸び悩んだ。
小売 （電気機械器具小売業）	エアコン・冷蔵庫が好調で前年同月比で売上高は14%増加した。
小売 （その他）	組合への加入者を増やし財務基盤強化につなげ共同事業の推進を図っていきたい。
小売 （ガソリン）	原油安、円高の影響から市場価格が若干下落している。10月の消費増税による消費者ポイント還元事業の加盟店登録について組合員から組合への問い合わせが増加している。
商店街	消費増税による売上の減少を懸念している。
商店街	商店街活性化にむけた取り組みは、新市長体制においても前進することを期待している。組合員の脱退(3名)があり、今後は心配である。
宿泊業	盆の連休が長期であったことで売上は増加した。人手不足によるマンパワー不足を感じている。
美容業	8月の長期連休に来店客数が増加し売上高は前年同月比で10%増加した。

警 備 業	警備員の需要は増加しているが、人手不足と働き方改革の影響から受注を控えざるを得ず、売上高は前年同月比で8%悪化した。取り引きに関しては民間工事では、消費増税、複数年間契約の中途であることもあり料金の値上げが難しい状況にある。収益状況は受注抑制や従業員の有給取得や賃金の引き上げ等から悪化が続いている。賃金を引き上げているが求職への応募は少なく、人手不足は深刻化している。
建設業（総合）	前年同月比で件数13%、請負金額92%大幅に増加した。8月累計では件数、請負金額共に7%減少している。年度当初には山梨県に対する公共事業予算配分額が大幅に増加したとの報道があり、請負金額の増加を期待したが、「建設業景況調査」では「今後も悪い傾向が強まる」とされており、今後の動きに注視していく。
建設業（型枠）	県内の工事量は堅調に推移しているが、組合員からは公共事業の減少や民間の設備投資の減少による来年の仕事量に対し不安の声が多く上がっている。
建設業（鉄構）	東京オリンピック関連建設工事が優先事業として実施されていたのが落ち着き、先延ばしにされた計画が事業化されてきている。全国的に鉄骨の建て方に必要な高力ボルト不足は続いているが、価格は落ち着いてきている。
設備工事（管設備）	人手不足が続いている。
運輸（タクシー）	猛暑日が続き、涼を求めて利用客がわずかに増加した。しかし稼働率は低い状況で推移している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2018/8	2019/7	2019/8	2018/8	2019/7	2019/8	2018/8	2019/7	2019/8
売上高	0	0	-15	17	-23	-3	10	-14	-8
収益状況	-10	-25	-30	17	-13	-3	6	-18	-14
景況感	5	-20	-30	10	-7	-10	8	-12	-18

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

